

# 歴史ある「おはっさく」を

## みんなの手で守り 継承ひてゆきまひよう

### 郡内三大祭りの一つ八朔祭とは

「おはっさく」の名前で市民の皆さんには親しまれ、年に一度の大きなお祭りとして子どもから大人まで楽しみにしている「八朔祭」は、富士吉田の火祭り、上野原の牛倉神社の例祭と並んで郡内三大祭りの一つになっています。

八朔とは旧暦の八月一日のことで、節分や雛祭り、端午の節句、七夕などと同様に特定の神社のお祭りではなく、民間行事の一つとされています。この祝いの日を生出神社の祭日にしたのが都留市の八朔祭りです。生出神社は、もと諏訪明神といい、農業の神様でしたが、郡内を統治していた秋元但馬守泰朝が領主のときに、生出神社と名前を変えたと伝えられています。生出神社の例祭が都留市だけでなく、県下にその名を知られた祭りとなったのは、舞、神楽、神輿、屋台、大名行列などの、にぎやかな祭礼行列が巡行したことがその要因にあるといえます。

